

月報 501 号～600 号の総目録と索引

「専修大学社会科学研究所月報目録」

(No.501 : 2005 年 3 月～No.600 : 2013 年 6 月)

2005

- No.501 2004 年度夏季合宿研究会報告
夏季合宿研究会日程
川崎臨海部の再編整備に向けて ～土地利用の視点から～ 内野 善之
産業集積の理論と政策 松原 宏
夏期実態調査（川崎市）に企画及び参加して 福島 義和
「裁量」概念の国内裁判所と（地域的）国際裁判所における相違に
ついでの一考察 -National security 概念と derogation 条項- 佐藤 潤一
- No.502 昆明市上水道整備事業に対する評価分析
-現地調査に基づいて- 施 錦芳
- No.503 不良債権処理問題、整理回収機構（RCC）と金融再生 山中 尚
- No.504 イタリアと日本における 90 年代以降の改憲論の動向と問題点
第 1 部 イタリアにおける 90 年代以降の改憲論の動向
The Politics of Constitutional Reform in Italy. An assessment of the most recent
developments Carlo Fusaro
Institutional Reforms and Constitutional Revisions in Italy: An Introduction
Shinichiro Murakami
イタリアにおける 90 年代以降の憲法改正の動向 高橋 利安
- 第 2 部 日本における 90 年代以降の憲法改正論の動向と問題点
90 年代以降の改憲論の現状と問題点 内藤 光博
『日本国憲法改正国民投票法案』の問題点 飯島 滋明
- No.505・506 日中学術シンポジウム・調査特集号 -社研春季北京合宿-
社研春季合宿研究会・中国社会研究シンポジウムについて 柴田 弘捷
春季合宿研究会の行程 村上 俊介
中国側報告者レジュメ
(1) 現代中国における社会階層構造の変化と傾向 李 春 玲
(2) 中国人口高齢化と社会保障 唐 鈞
(3) 中国三農問題解決と都市化 牛 凤 瑞

	(4) 2004年の世界経済状況からみる経済グローバル化の 下における中国経済と世界経済の相互作用	孙 杰
	(5) 中国産業構造進化の歴史と現実	赵 英
	(6) 現代中国における就業状況と労働人口変化の傾向	张 翼
	日本側報告者論文	
	(1) 中央政府・地方政府の財政関係 ―日本と中国―	町田 俊彦
	(2) 北京「胡同・四合院」におけるコミュニティリノベーション	大矢根 淳
	(3) 中国中小企業の国際化	張 浩 川
	2005年3月の北京と1928年春の北京	儀我壮一郎
	北京中国社会科学院を訪ねて	加藤幸三郎
	転機の現代中国・私観	内田 弘
	在北京日系企業の人事管理	柴田 弘捷
	地方行政の下請機関と住民自治組織の二重の性格をもつ社区居民委員会	町田 俊彦
	10年目の北京	井上 裕
	新たな思いを胸に	施 錦芳
	地域研究の目指す地平	米田 巖
	近隣関係の希薄化と中庭文化の変化	福島 義和
No.507	メコン地域開発と雲南省の経済発展	施 錦芳
No.508	三木清の東亜協同体論	内田 弘
No.509	広東省民営企業に見る金融システムの現状と課題	遠山 浩
No.510	衆参両院・憲法調査会報告書の検討 「憲法調査会市民監視センター」の紹介	筑紫 建彦
	憲法調査会の5年間と、今後	高田 健
	最近の憲法状況と調査会報告書総論	山内 敏弘
	憲法調査会「報告書」における「平和主義」の検討 ―「戦争の放棄」から「平和主義の放棄」へ―	内藤 光博
	藤四郎たちの夜郎自大な三百代言 衆参憲法調査会報告書に見る改憲論者の常識の非常識	井上 知樹
	統治機構・改正規定等について	古川 純
	6月25日のフォーラム以降の動き	内田 雅敏

2006

- No.511 等価形態の論理（上）－「簡単な価値形態」の論理（その2）－ 川崎 誠
- No.512 北京日本学研究中心合同研究会報告
北京日本学研究中心合同研究会について 大矢根 淳
日本における複雑系経済学の展開
－マルチエージェントベースの経済学を中心に 吉田 雅明
哲学における複雑系 金子 洋之
「複雑系社会学」の可能性－相互行為と社会システム論から－ 嶋根 克己
- No.513 中国電子産業の所有構造改革 湯 進
- No.514 EUにおける対アジア戦略と直接投資 前田 和實
- No.515 中国（上海）合宿調査報告
第1部－2005年11月－
上海における日中関係と魯迅の旧居－1963年8月と2005年11月－ 儀我壮一郎
みずほコーポレート銀行上海支店を訪ねて 加藤幸三郎
11月5日（土曜日）のエクスカッションについて 林 和生・福島 義和
中国に進出する日系企業の人材戦略
－ローカル企業の人的資源管理を踏まえて－ 湯 進
社研プロジェクト「中国社会研究」
2005年11月2日～6日上海視察および上海社会科学院との交渉行程
村上 俊介
- 第2部－2006年3月－
上海流転－日中交流の群像－ 加藤幸三郎
上海の過去・現在・将来 儀我壮一郎
中国における食市場の変化 佐藤康一郎
格差問題を考える 施 錦芳
成長する中国のプラズマテレビ市場－日系企業の事業展開を中心に－
湯 進
上海松下プラズマディスプレイ有限公司の工場を訪れて 大西 勝明
社会科学研究所2005年度春季合宿研究会（上海）の行程 村上 俊介
- No.516 三井物産の有価証券貸借－明治末期・大正初期の事例－ 麻島 昭一
- No.517 特集 専修大学社会科学研究所・上海社会科学院社会発展研究院共催
日中シンポジウム

経済・社会の構造変容と諸課題 ―日本の現状・中国の現状―

日中シンポジウム 「経済・社会の構造変容と諸課題

―日本の現状・中国の現状―について

柴田 弘捷

中国側報告要旨・資料

1. 上海の経済発展と構造調整

周 振華

2. 上海市張江ハイテクパーク（南区）の発展計画と構想

曾 鋼

3. 利益格差と社会システムの再構築

盧 漢龍

4. 中国における高齢化社会と社会福祉制度の再構築

彭 希哲

日本側報告・コメント

IT/グローバリゼーションと企業システム

宮寄 晃臣

日本のウォーターフロント開発の現実と課題

―東京大都市圏・川崎市を事例として

福島 義和

現代日本の階級・階層・格差問題

柴田 弘捷

日本における高齢者福祉政策の現状と課題

唐鎌 直義

全体としてみれば意義深いシンポジウム

―コーディネータとしての感想―

鶴田 俊正

上海市張江ハイテクパークの発展状況と中国のイノベーション政策

平尾 光司

「経済・社会の構造変容と諸課題」への視座

内田 弘

No.518 International Anti-Poverty Policies

Dr David Gordon

No.519 産業発展とキャッチアップ ―中国液晶産業の成長―

湯 進

No.520 粉青沙器研究の歩みと現在

丁 哲秀、宋 基珍、樋口 淳

No.521 憲法改正国民投票法案の検討

憲法改正国民投票法案をめぐる動向

内藤 光博

「日本国憲法の改正手続に関する法律案」の問題点

飯島 滋明

No.522 2006年度夏期実態調査（川崎）報告

2006年度夏期実態調査（川崎）概要

宮寄 晃臣

川崎市における臨海部再生とエコタウン

町田 俊彦

環境NPOによるエコグッズの事業課題

―川崎市民石けんプラントをケースとして―

神原 理

基盤産業の危機からの脱出 ―「自立型」中小企業へ

湯 進

川崎市の都市再生・産業再生

儀我壮一郎

注目すべき動きとしての産業・環境創造リエゾンセンター

北川 隆吉

2007

- No.523 私論 北一輝 井上 裕
- No.524 片倉製糸の中国・四国地方における貨物自動車輸送 高梨 健司
- No.525 片倉製糸の九州地方における貨物自動車輸送 高梨 健司
- No.526 三井物産の社内保険の実態 —明治・大正期の物産元帳よりの考察— 麻島 昭一
- No.527 商品世界と使用価値（1） —欲望論の視座から— 清水 真志
- No.528 商品世界と使用価値（2） —欲望論の視座から— 清水 真志
- No.529 「比較経済学」から「比較経済」への葛折道 吉家清次先生に聞く 吉家 清次
- No.530 沖縄実態調査特集号 —2007年3月11日～15日—
 聴取調査の記録：石垣市役所、フロム沖縄推進機構 町田 俊彦
 聴取調査の記録：ひめゆり平和祈念資料館 嶋根 克己
 沖縄戦と米軍基地 隅野 隆徳
 2007年3月の沖縄 儀我壮一郎
 沖縄県民の働く意識と企業に対する意識調査への序論 飯田 謙一
 公共事業・地方交付税削減下の石垣市財政 町田 俊彦
 沖縄の過去と現在が語りかけるもの 福島 利夫
 社研沖縄実態調査に参加して 梶原 勝美
 2006年度社研春季合宿研究会（沖縄）行程 村上 俊介
- No.531 NAICS（北米産業分類システム）にみるアメリカの産業構造の転換 鈴木 直次
- No.532 Consensus Tigurinus or Dissensus Tigurinus ?
 International Ecclesiastical Politics in Switzerland in the mid-16th Century
 Hirofumi Horie
- No.533・534 静岡実態調査特集号（11月・12月合併号）—2007年8月1日～3日—
 工業立地の全国的動向と静岡県の地位 町田 俊彦
 2007年8月の浜松市と外国人労働者 儀我壮一郎
 国際化時代の日本経済とベンチャー企業の役割に関する一考察
 —ベンチャー企業の起業と企業家の育成に関して— 飯田 謙一
 クラスタ計画と浜松オプトロニクスクラスター 宮寄 晃臣
 「浜松ホトニクス」と「光産業創成大学院大学」 黒田 彰三
 静岡県・浜松地域産業の活性化と研究開発型中小企業の育成 湯 進
 産業、行政、地域、大学の当面する問題群
 —静岡県調査のメモ風の報告— 北川 隆吉

国内生産に集約するスズキ —スズキ湖西工場の実態調査— 湯 進
「機能的便益」と「情緒的便益」の間で 佐藤康一郎
2007年度夏季合宿研究会（静岡・浜松）行程 内田 弘・村上 俊介

2008

- No.535 福田内閣下での憲法状況と改憲問題 飯島 滋明
- No.536 スペイン・フェミニズムの先駆者
コンセプション・アレナルとエミリア・パルド・バサン 砂山 充子
- No.537 わが国の地域産業集積と「小さな」世界企業の成長過程の実証研究 溝田 誠吾
- No.538 株式会社期における三井物産の銀行取引
—明治42年～大正11年の元帳による考察— 麻島 昭一
- No.539 シンポジウム イメージとしての「文化大革命」—映画『夜明けの国』をめぐって
シンポジウム「イメージとしての「文化大革命」」について 鈴木 健郎
映画『夜明けの国』をめぐる討論について 森 瑞枝
竹内好と文化大革命—映画『夜明けの国』をめぐって 土屋 昌明
群衆の肖像、眼差しのアーカイヴ 下澤 和義
- No.540 啄木の秋風、秋瑾の秋風 —石川啄木の回心と明治日本論— 内田 弘
- No.541 価値概念の二重性（1） —同質性と交換性— 清水 真志
- No.542 価値概念の二重性（2） —同質性と交換性— 清水 真志
- No.543 タイ実態調査特集号 —2008年3月14日～3月20日—
謝 辞—2007年度春季合宿調査（タイ王国）への協力者のみなさんへ—
内田 弘
2008年3月14日～20日 社研春季合宿研（タイ）行程 村上 俊介
アジア経済危機を経たタイ経済 稲田 十一
タイ国の工業発展と日系企業の経営管理 飯田 謙一
巨大化するバンコク都市圏とクルマ社会 福島 義和
タイの小売流通の変化と発展過程について 田口 冬樹
ケーススタディ——タイのブランド、「レッドブル」の展開 梶原 勝美
日タイ経済関係を再考する 熊野 剛雄
チェンマイと「暁の寺」 加藤幸三郎
バンコク冒険譚——のるかそるかを生還 池本 正純
タイの友人たち 平尾 光司
仏教権威王国タイ、南国の香り 内田 弘

- タイ中央銀行での研究会 —タリサ総裁との旧交を温めながら— 原田 博夫
 断想：2008年3月のタイ 儀我壮一郎
- No.544 日韓比較民俗学の試み —清明と寒食をめぐって— 竹田 旦
 中国の対外援助の現状 —対アフリカ援助を中心に— 施 錦芳
- No.545 戦前期三井物産の支店金融 —明治36年～大正7年について— 麻島 昭一
- No.546 <緊急 公開討論会>
 「アメリカ発金融危機の影響—同時代・現場からのレポート—」
 基調報告：平尾 光司
 コメンテーター：西岡 幸一、野口 旭、田中 隆之
 コーディネーター（司会）：原田 博夫
- 2009**
- No.547 スペイン異端審問制度の史的展開と司法権の時代的・地域的特質 堀江 洋文
- No.548 専修大学社会科学研究所 2008年夏季実態調査（燕市・新潟市）特集号
 —2008年8月5日～8月7日—
 専修大学社会科学研究所 2008年夏季実態調査（燕市・新潟市）行程 村上 俊介
 戦前における疎開と大河津分水の思い出 加藤幸三郎
 中小企業の将来と地域社会—燕市での調査にもとづく中間的試論 北川 隆吉
 燕産業集積の変遷と展望 宮寄 晃臣
 産地の一企業からみた燕の洋食器産業
 ——小林工業（LUCKY WOOD）のあゆみから—— 樋口 博美
- No.549 晴耕雨読の暮らしが待っている一定年退職を迎えて— 内田 弘
- No.550 協同労働と雇用社会——労働機会創出への選択的回路 内山 哲朗
- No.551 戦前期大信託会社の金銭信託の性格
 ——住友信託を中心とした考察—— 麻島 昭一
- No.552 北京・上海のハイテク産業クラスターの現状と課題 湯 進、孟 勇
- No.553・554 韓国実態調査特集号（7月・8月合併号）—2009年3月14日～3月20日—
 2008年度春季実態調査 村上 俊介
 不況下・韓国の労働問題と労働組合 柴田 弘捷
 Work sharing の導入にあたり考慮すべき諸問題
 —わが国についての若干の考察と見解— 飯田 謙一
 日本ビール産業の現況 水川 侑
 韓国再訪—独立記念館と光州を訪ねて— 高橋 祐吉

- 光州における市民の抵抗権 村上 俊介
 光州で石川啄木を語る 内田 弘
 断想：2009年3月の韓国 儀我壮一郎
 現代自動車のマーケティング 佐藤康一郎
 釜山市の産業概要と地元研究所の役割機能 姜 徳洙
 韓国の流通：釜山における複合商業施設と物流施設の開発について 田口 冬樹
 「故郷」での違和感 森 宏
- No.555 ルイ・ゴメス・デ・シルバと16世紀カステイージャ政治機構 堀江 洋文
- No.556 アメリカIT産業のグローバル展開（1）
 ー東アジアを中心とする半導体産業の海外事業ー 鈴木 直次
- No.557 アメリカIT産業のグローバル展開（2）
 ー東アジアを中心とする半導体産業の海外事業ー 鈴木 直次
- No.558 平尾光司教授退職記念研究会記録
 発表者：平尾 光司
 司会：徳田 賢二
 第1部 長銀調査部時代（1960・70年代）
 対談者：清成 忠男氏
 コーディネーター：鶴田 俊正
 第2部 長銀マネジメント時代（1980・90年代）
 対談者：水上 萬里夫氏
 コーディネーター：田中 隆之
 第3部 専修大学時代（2000年～）
 対談者：久保 孝雄氏
 コーディネーター：宮本 光晴

2010

- No.559 中国における文革研究と文革の記憶 印 紅 標、鈴木 健郎 訳
- No.560・561 専修大学社会科学研究所
 2009年夏季実態調査（堺市・和歌山）特集号（2月・3月合併号）
 2009年度夏季実態調査 佐藤康一郎
 堺市の政令指定都市移行と経済・財政 町田 俊彦
 堺市の産業構造・政策上の問題 ー関西広域圏の状況と関連づけてー 北川 隆吉

堺市の地場産業育成政策と地域振興に対する一考察

ー同市のベンチャー企業の育成に関してー

飯田 謙一

伝統的産業・堺刃物業の昔と今

川村 晃正

堺余話

池本 正純

資料

堺の産業の未来について ー臨海部を中心にー

金本 貴幸

堺市の中小企業支援事業 ー企業の競争力強化と新事業の創出ー

清水 秀行

堺の伝統産業

辻林 博

No.562・563・564 専修大学社会科学研究所創立 60 周年記念号（4月・5月・6月合併号）

巻頭言

町田 俊彦

専修大学社会科学研究所創立 60 周年記念檀国大学・専修大学合同研究会

米主導のグローバル資本主義の終焉と日本経済

宮寄 晃臣

「日本的経営」の見直しと格差・貧困の諸相

福島 利夫

専修大学社会科学研究所創立 60 周年記念公開シンポジウム

今、なぜ『資本論』なのか

第 1 回 『資本論』から現代を読む

的場 昭弘

配付資料（コメント）

清水 真志

配付資料（コメント）

吉田 雅明

第 2 回 今日の貧困と『資本論』

伍賀 一道

配付資料（講演用レジュメ）

伍賀 一道

配付資料（講演用パワーポイント・スライド）

伍賀 一道

配付資料（コメント）

宮寄 晃臣

配付資料（コメント）

福島 利夫

No.565 創業期三井物産の諸投資ー明治 9 年～25 年の考察ー

麻島 昭一

No.566・567 2009 年度春季実態調査（長崎）特集号（8月・9月合併号）

ー2010 年 3 月 15 日～3 月 17 日ー

社会科学研究所 2010 年度春季実態調査 行程

佐藤康一郎

長崎県、長崎市の経済

佐々木浩二

「中核市」の人口・就業構造及び財政と長崎市

町田 俊彦

地方自治体の中小企業育成政策に対する一考察

ー長崎市の中小企業政策と関連させてー

飯田 謙一

「記憶」の無人島・軍艦島ー廃鉱の島・長崎県端島ー

柴田 弘捷

- 斜面都市・長崎市のまちづくりの課題
 —1982年の長崎豪雨災害以降— 福島 義和
 長崎市資料；商工行政の概要、文化観光行政の概要
- No.568 中国の「アンドレ・バザン」と「ヌーヴェル・ヴァーグ」
 —文化大革命終焉直後の中国における
 フランス映画文化大革命の受容 劉 文 兵
 日本におけるルカーチの翻訳・受容史概観 西角 純志
- No.569 キリスト教原理主義とアメリカ政治 堀江 洋文
- No.570 ワーク・ライフ・バランス論における公共性概念の位置づけ
 中国の対アフリカ援助における評価分析 鈴木奈穂美
 施 錦芳
- 2011**
- No.571 「金融教育」の混迷化現象に関する一考察
 —公民科単元「金融」を事例として— 増田 純一
 第3回専修大学社会科学研究所・檀国大学合同研究会について 宮寄 晃臣
 民主党・菅政権の「新成長戦略」と「財政運営戦略」 町田 俊彦
 非伝統的金融政策の効果について 田中 隆之
- No.572・573 2010年度夏季海外実態調査（中国内陸部）特集号（2月・3月合併号）
 —2010年9月5日～9月11日—
- 社会科学研究所 2010年度夏季海外実態調査概要 宮寄 晃臣
 中国における中部地区開発と政府間財政関係 町田 俊彦
 中国経済管見 熊野 剛雄
 長江悠悠 加藤幸三郎
 中国に進出する日系企業の課題
 —合肥市・武漢市・西安市の経済技術開発区の企業誘致と日系企業— 飯田 謙一
 「中部崛起」戦略下の安徽省経済 湯 進
 グローバル資本主義の新たな展開と中国中部地区崛起政策 宮寄 晃臣
 資料
 国際金融危機下での中国中部揭示の成長実態と見通し 河南省社会科学院課題組
 —『中国中部地区発展報告[2010]』総論の一部紹介
 郭 鋒訳、湯 進監訳、宮寄晃臣監修
 中国中部地区の経済・財政統計 町田 俊彦

- No.574 望月清司先生に聞く 村上 俊介
- No.575 The Doctrine of Active Resistance in the Sixteenth Century Hirofumi Horie
- No.576 鳩山由紀夫の思想と行動～ロードマップなき“理念”の宰相～ 藤本 一美
藻谷浩介『デフレの正体—経済は「人口の波」で動く』を読んで 森 宏
- No.577 賃金制度の改編と労働組合
—成果主義的賃金制度の生成と変容をめぐる—考察— 高橋 祐吉・兵頭 淳史
- No.578 「ティーパーティー運動の光と影」 末次 俊之
中国の都市扶貧開発—遼寧省の事例を中心に 施 錦 芳
- No.579 聞き取り「川崎市向ヶ丘遊園の跡地保全を巡る市民運動」
—藤子・F・不二雄ミュージアム設立前史— 泉 留維・小西 恵美
斉藤 住史・永江 雅和
永島 剛
- No.580 特別研究助成「若年・青年層の不安定就労ならびに社会保障制度の現状」
2010年度報告（1）
小序 宮崎 晃臣
地域雇用政策と地域財政 町田 俊彦
労働保険特別会計雇用勘定の積立金の取崩しの課題 藤井 亮二
- No.581 本格復興を支える中小企業金融の成立に向けて
—岩手県沿岸被災地からの考察— 遠山 浩
中国における学歴格差社会 蔣 純青
- No.582 特別研究助成「若年・青年層の不安定就労ならびに社会保障制度の現状」
2010年度報告（2）
釧路市の自立支援プログラムと社会的排除／包摂概念 鈴木奈穂美
釧路調査覚え書き
—自立支援、「中間的就労」そして働くということ— 高橋 祐吉
- 2012**
- No.583 東アジアの鉄鋼業とビジネスモデル 溝田 誠吾
「東日本大震災」と浦安市の現状——被害の実態と対応 藤本 一美
- No.584 社会科学研究所 2011 年夏季実態調査行程 佐藤康一郎
[論文]
今治タオル産業の「再生」と中国 柴田 弘捷
「日本型」福祉国家における産業インフラ投資と本四連絡橋 町田 俊彦

株式会社「まさき村」に関する一考察

—事業所の生き残り方が地域経済の活性化に収斂した事例として—

宮寄 晃臣

[エッセイ]

内子町のグリーンツーリズムと「石畳の宿」

町田 俊彦

「グリーンツーリズム里山」宿泊感想記

樋口 博美

[ヒアリング報告]

今治造船(株) 西条工場

町田 俊彦

今治タオル産地と四国タオル工業組合

町田 俊彦

No.585 まちづくりの日米英比較

黒田 彰三

文革後期における青年たちの読書と思想的探求

印 紅標・土屋 昌明

No.586 国家の教育政策と私的価値領域および自由の問題—公開研究会の記録—

広瀬 裕子・榎 透

荒井英治郎・松下 丈宏

近代中国における漢冶萍公司与盛宣懷(Ⅱ)

加藤幸三郎

No.587・588 社会科学研究所 2011 年春季実態調査行程

小池 隆生

香川県高松市丸亀町 商店街活性化の成功例

黒田 彰三

「讃岐うどん考」

佐藤康一郎

銅製錬・アート・産廃処理の町・直島の現在

—人口構成・産業構造・雇用環境—

柴田 弘捷

直島と豊島をつなぐ産業廃棄物処理問題のこれまでとこれから

福島 利夫

アートの島：直島アートプロジェクトを検証する

前田 和實

「平成の大合併」後の地方財政—香川県さぬき市を事例として—

町田 俊彦

小豆島伝統産業

—小豆島手延素麺協同組合と有限会社井上誠耕園を事例に—

宮寄 晃臣

[ヒアリング報告]

経済産業省四国経済産業局

町田 俊彦

地域活性化(高松丸亀町商店街計画)にむけた地域金融機関の役割

—高松信用金庫ヒアリング

望月 宏

大西食品株式会社(香川県丸亀市)の「しょうゆ豆」

今井 雅和

「株式会社スカイファーム」の強さの魅力

—イチゴ栽培の家族経営から組織経営へ—

福島 義和

- No.589 「米連邦政府による自動車産業支援策 補論」 I 鈴木 直次
- No.590 「米連邦政府による自動車産業支援策 補論」 II 鈴木 直次
- No.591 シンポジウム 映像としてのアジア——アントニオーニの『中国』
シンポジウム
- 「映像としてのアジア——アントニオーニの『中国』」について 鈴木 健郎
- 歴史再訪——アントニオーニの『中国』を見る 印 紅標
- 中国における『中国』
- 「帽子をかぶせる」から「帽子をはずす」まで— 新田 順一
- 相容れない二つの<リアリズム>
- ミケランジェロ・アントニオーニと「革命様板戯」の出会い 劉 文兵
- 見られている観察者—『中国』と屈折する眼差し 楊 弋枢
- 日本人からみたアントニオーニ『中国』 土屋 昌明
- アントニオーニの『中国』をめぐるイタリアでの論争
- 美学・政治・イデオロギー— Laura De Giorgi
- あるドキュメンタリー映画の存在証明 下澤 和義
- No.592 特別研究助成「若年・青年層の不安定就労ならびに社会保障制度の現状」
2011・2012 年度報告（1） 町田 俊彦
- No.593 再考：マーケティング生成論 梶原 勝美
- <研究ノート>
- 米国における「ウォール街占拠」運動
- “直接民主制”方式による意思決定— 藤本 一美
- No.594 Thomas Cranmer, Continental Divines and the Edwardian Reformation Politics
Hirofumi Horie
- 【研究ノート】
- 山田盛太郎『日本資本主義分析』第二編「旋回基軸」の基本性格
- 同書「統計索引」の「労働」統計年次検討を通じて— 中根 康裕
- 2013**
- No.595 <研究会報告>
- 日本の長期不況とマクロ経済政策—吉川洋・小野善康両氏の見解を踏まえて
- [司会挨拶] 野口 旭
- [報告] 浅田統一郎
1. 吉川・小野・浅田コンファレンスの反響

2. 失われた 20 年の実相

3. デフレ不況とドーマー条件

- [討論 1] 片岡 剛士
- [討論 2] 黒木 龍三
- [討論 3] 野下 保利
- [司会中間総括] 野口 旭
- [リジョインダー] 浅田統一郎
- No.596 中国の都市貧困の現状、原因および解決策
シンポジウム
「レンズが撮らえた文革—北京 1966 年から 21 世紀中国への視座」について
下澤 和義・土屋 昌明
矢吹 晋・前田 年昭
- No.597 現下不安定雇用の構造的要因
産業別労働組合地域支部による外国人労働者の組織化
—静岡県西部地域における金属産業労組の取り組みを中心とする考察—
兵頭 淳史
大阪調査覚え書き
—自治体による就労支援のさまざまなかたち—
高橋 祐吉
- No.598 浜田宏一『アメリカは日本経済の復活を知っている』講談社、2013 年 1 月、
第 4 刷を読んで 森 宏
米国の「大統領選挙」と日本の「衆院解散・総選挙」 藤本 一美
「インタビュー」：中国の「民間ドキュメンタリー」とはなにか
—胡傑監督へのインタビュー— 土屋 昌明
- No.599 中国の大卒者就職制度の変遷 蔣 純青
越境する場所とアイデンティティ
—群馬県大泉町の「移民 1.5 世代」の場所形成— 藤原 法子
- No.600 月報 600 号発刊記念号
社会科学研究所への思いと期待 柴田 弘捷
専修大学社会科学研究所に思う 内田 弘
実態調査の「定点観測」化と全調査先参加所員全員執筆制 町田 俊彦
専修大学社会科学研究所月報 600 号記念に寄せて—社研海外視察研修小史
村上 俊介

2008年恐慌における資本の絶対的過剰と管理通貨制

——宇野『恐慌論』/大内『国家独占資本主義』再考——

新田 滋